

(参考) 補助対象機器の成果目標の例 (小型農業機械電動化・自動化支援事業)

補助対象機器	成果目標の項目	目標値※
環境制御装置	10 a あたり収量の増加	複合環境制御装置の導入により、いちごの収量が 36%増加
水田の水管理システム	10 a あたりの作業時間の削減	水田の水管理の作業時間が 60%削減
田植え機 (直進アシスト型)	10 a あたりの作業時間の削減	田植えの作業時間が 26%削減
トラクター (自動型)	10 a あたりの作業時間の削減	耕耘・代掻きの作業時間が 33%削減
アシストスーツ	10 a あたりの作業時間の削減	ブドウの棚下作業時間が 12%削減
汎用自走ロボット	10 a あたりの作業時間の削減	トマトの収穫作業時間が 22%削減
草刈りロボット (自走型・リモコン式)	10 a あたりの作業時間の削減	ナシ園の草刈りの作業時間が 77%削減
自動防除機 (エンジン・電気駆動)	10 a あたりの作業時間の削減	防除の作業時間が 42%削減
ドローン (農薬散布)	10 a あたりの作業時間の削減	農薬散布の作業時間が 37%削減
ドローン (農肥料)	10 a あたりの作業時間の削減	肥料散布の作業時間が 33%削減

※目標値はスマート農業実証プロジェクトの実証結果 (農研機構 HP に掲載) を参考に記載。